



野木小だより

平成26年5月15日
— 第2号 —
野木町立野木小学校長
江田 裕之

「今年1年、こんなことに力を注ぎます！」

江田 裕之(校長)

「自分自身や学校、地域に、自信と誇りを持てるような児童の育成に努めます」

福田 雅和(5年)

「児童一人一人が自分や友達の良さに気づき、自分らしさが伸ばせるよう頑張ります」

柿沼 明美(教頭)

「時間を有効に使い、広い視野で物事を見たり考えたりすることに努めます」

牧野 堅一(6年)

「6年生が最高学年として輝き、感動的な卒業式を迎えるように努めます」

出井 亨子(教務主任)

「子どもたちの活動が充実するように学校の教育活動のコーディネーターとして頑張ります」

木村 善子(ひまわり1)

「『できた！わかった！』と笑顔のこぼれる時をたくさん作れるように努めます」

大橋 智香子(1年)

「ピカピカの1年生が、心も体も頭も大きく伸びることができます」

西村 百代(ひまわり2)

「野木小学校の児童や教職員の笑顔が増えるように努めていきます」

斎藤 玲子(2年)

「『自分から』を合い言葉に活動する児童と共に温かい学級を作ります」

飯村 純明(少人数指導)

「子どもたちの瞳がキラキラ輝くような様々な教育活動に取り組んでいきます」

篠田 崇子(3年)

「子どもたちに寄り添いながら、学ぶ楽しさを実感せるように努めます」

五十畠 京子(養護教諭)

「野木小っ子の顔と名前を全員覚え、一人一人の健康をサポートできるように努めます」

小堀 佐代子(4年)

「一人一人の良さを見つけ、それを伸ばしていく学級づくりに努めています」

鈴木 智美(事務主任)

「保護者や地域の方々が気持ちよく来校できるように明るい対応を心がけます」

富川 麻由美(1年支援)

「担任の先生方との共通理解を大切にし、子どもたちの良い所を伸ばせるような支援に努めます」

ティム・コリーア(ALT)

「To enjoy communication and help students with English pronunciation」

久保 優子(2年支援)

「子どもたちが、安全に心豊かな学校生活を送れるよう支援に努めます」

五十嵐 弘子(調理員)

「子どもたちの苦手な献立もプラス味付けで少しでも口にしてくれる給食を作ります」

片吉 キミ子（用務員）

「子どもたちの主体性が育つように“温かく見ていること”に努めます」

井本 加代子（事務）

「気持ちよい挨拶と丁寧な言葉遣いで温かい応対を心掛けます」

浅倉 ゆかり（司書）

「図書室を整備し、本の魅力を伝え、子どもたちが楽しく利用できる図書室作りに努めます」

小和田 早希（調理員）

「美味しい、安心で安全な給食作りを心掛けます」

木戸 美幸（調理員）

「給食の時間が楽しみになるよう、美味しい給食を作ります」



4月22日に実施しました！

6年：全国・学力・学習状況調査 (国語A・B、算数A・B、質問紙)

4・5年：とちぎっ子学習状況調査 (国語、算数、理科、質問紙)

6年生は、全国・学力学習状況調査を実施しました。教科は、国語と算数の2教科ですが、それぞれの教科で、主として「知識」に関するA問題と主として「活用」に関するB問題とがありました。質問紙の内容は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活面に関するものに回答しました。

4・5年生は、今年度から栃木県で独自の調査（名称は、とちぎっ子学習状況調査）を実施することになりました。2学年ともに、教科は、国語、算数、理科の3教科で、国語には、聞き取り問題が含まれていました。質問紙の内容は、全国・学力学習状況調査とほぼ同様でした。

結果は、個人にそれぞれお返しするとともに、学校として授業改善に役立てます。

心温まる手づくりの「1年生を迎える会」を実施しました！

入学から早いもので1ヶ月が過ぎました。1年生は、日に日に学校生活にも慣れ、勉強や運動に精い一杯取り組んでいます。

1年生を心から歓迎し、全校児童が笑顔いっぱいになれるような「1年生を迎える会」が5月2日（金）に実施されました。2年生の誘導で、4年生のつくる花のアーチをくぐって入場しました。5年生は、色とりどりに体育館を飾り付けてくれました。

お楽しみタイムでは、名刺交換ゲーム、○×ゲーム、じゃんけん列車で大いに盛り上がりいました。その後、3年生から手づくりの金メダルのプレゼントがあり、首からさげたメダルを大事そうに手にしていました。最後に、6年生が1年生を背中におんぶして和やかに退場をしました。

実行委員の心温まる演出で、全校児童の心が一つになった1日でした。

